



ほたるぶくろの精

花の中に蛍をいれたらどんなでしょう？
ぼうっと光る様子を想像するだけでもわくわくします。

私は小学生の頃、母の実家のある新潟で夏休みをすごしましたが、夜になると田んぼに蛍が飛び交い、蛍狩りをしたことを思い出します。関東では6月中旬を過ぎると蛍の季節ですね。

池上 洋子



【そら豆の赤ちゃん】

初夏の野菜売り場に並ぶおいしそうなそら豆。そのさやを開けると中からコロコロと、かわいいお豆が飛び出してきました。そんなコロコロかわいいお豆の赤ちゃん、ふわふわベットのそら豆を、羊毛フェルトで作ってみませんか？

赤ちゃんが3つと、さや（約20センチ）ができるキットには、簡単なテキストが入っていますが、「ウォールドルフ人形と小さな仲間たち」1,560円（税別）も合わせてご覧ください。

そら豆の赤ちゃん 1,460円（税別）



SASHIKO 萩原久子展 ～スウェーデンふたたびの会～

2014年6月6日（金）～12日（木）10:00～18:00
侘助と村松八百蔵商店（作家実家）の2か所での展示
（侘助・静岡県藤枝市青木 1-10-14

TEL&FAX 054-641-0609）

刺し子にあって40年、布と糸と針で魂を揺さぶるものを作りたい…。不揃いでも心にひびく針目…。技より愛情…。一針一針丹精込めてきれいより創造を楽しむ…。生き方にも重ねていければと思います。（ご案内文より）

2013年10月、スウェーデンの博物館にて行われた、SASHIKO-Japanska-stygnに出展した作品や、その時の写真などが展示されます。お近くの方はぜひご覧ください。



手仕事の想い出



ぱたぼんのアトリエから



講師になる何年も前、造形教室のお手伝いをしていた時に、夏になると毎年藍染めをした事を懐かしく思い出します。藍の葉っぱを（新聞紙を下敷きに）白系の布の上に置き、あて布をおいて木槌や金槌でたたくと葉っぱの形が下の布に移り楽しい模様になります。夏休みにもし藍の葉っぱが手に入ったら、挑戦してみたいかでしょうか！？



まだ子供達が小学生だった頃、小学校の秋祭りで羊毛ボール作りをしたのが好評で、在籍中の6年間続いたのを思い出します。低学年～高学年まで楽しそうな笑顔で、男の子にも大好評でした。羊毛ボールはお湯を使わなくても、お水に石鹸を入れた石鹸水で作ることができます。暑い夏の日、お子様と一緒に作ったボールで、手作りのネックレスやストラップを作ってみませんか♪

北詰 桂子（神奈川県横浜市）



大好きな動物たち

部屋の数か所にいた動物たちを、絵本の棚にまとめてみました。帰省した娘が「にぎやかで楽しそうだね～」と動物たちを見てひとこと。大好きなコーナーになりました。

ウォールドルフの動物の魅力は、シンプルな型紙なのに縫い合わせて羊毛を詰めると、とても繊細な体のラインがでること。そして、手縫いでもくもくと縫い合わせる作業が、心を落ち着かせてくれることです。今日も部屋のあかりが消えたら、動物たちのおしゃべりが始まるのでしょうか？

志村 智美（新潟県上越市）

FAX 番号変更のお知らせ

「ペレのあたらしいふく」の電話とFAXの番号がそれぞれ専用になりました。ご注文やお問い合わせの際は、番号をよくお確かめの上おかけください。

【電話専用 045-881-6900】【FAX専用 045-881-6665】

スペース ペレのあたらしいふく

《6月の開店日》

平日の毎日・7日（土）・14日（土）

（※土曜日のご来店の際には、ご面倒ですが、前日までにお電話をお願いいたします。）

10:00～16:00（日曜・祝日を除く）

ホームページ <http://www.s-hitsuji.co.jp/>

編集担当：根本裕美

♥ スウェーデンひつじの詩舎 ♥

スペース ペレのあたらしいふく

〒244-0001 横浜市戸塚区鳥が丘 15-2

TEL045-881-6900 FAX 045-881-6665

佐々木のアトリエ TEL&FAX 045-811-6708

人形作りについてのご質問やご相談は随時お受け致しますのでお問合わせください。